

## 水俣から海外へ、「環境保全と地域再生」を伝える ブルネイ、カンボジアなど各国環境省、行政官、研究者等 27名が水俣市でスタディーツアー

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は「21世紀東アジア青少年大交流計画」(JENESYS Programme)次世代リーダープログラムの一環として「環境保全と地域再生」をテーマに、フィリピンの大統領のアドバイザーを始め、対象国のコミュニティーの将来を担う若手の NGO・教育関係者、行政官、研究者等 25 名を 15 カ国から招へいし、日本からの参加者 2 名を加え 27 名がプログラムに参加します。(財)水俣病センター相思社(水俣市)の協力のもと、地域で育まれた文化や特徴を活かしながら、環境保全と地域再生に対する取組みを視察します。水俣市、東京都では、視察の事例を基に、各国の若手リーダーがワークショップを行います。



### ■ 日程 2011年11月19日(土)～11月30日(水)

### ■ 16カ国、27名の国参加/人数

ブルネイ 2 名、カンボジア 2 名、インドネシア 2 名、ラオス 2 名、マレーシア 2 名、ミャンマー 2 名、フィリピン 2 名、シンガポール 2 名、タイ 2 名、ベトナム 2 名、インド 1 名、オーストラリア 1 名、ニュージーランド 1 名、中国 1 名、韓国 1 名、日本 2 名

### ■ 視察・訪問内容 (水俣市 11/22～25)

11月22日	相思社・水俣歴史考証館/患者さんとの面談/エコネットみなまた
11月23日	水俣病資料館/吉井正澄元水俣市長との面談/地元学ネットワーク主宰吉本哲郎氏との面談
11月24日	地元学ワーク
11月25日	アジアと水俣を結ぶ会 / 原田正純医師との面談

### ■ 成果発表会

講師 永田佳之

日時 | 2011年11月28日(月) 13:45-17:00 (※英語 通訳無し)

会場 | ホテルアジア会館 会議室 AB (東京・赤坂)

講師プロフィール : 聖心女子大学准教授 教育学博士。1995年、国立教育政策研究所の職員としてユネスコ等との国際事業にたずさわる。2005年、米国同時多発テロ事件後の国際理解教育のあり方を論じた論文にて、第29回「国際理解教育賞最優秀賞」を受賞。著書は『国際教育協力を志す人のために：平和・共生の再構築へ』(学文社)など多数。2007年より現職。



※ワークショップは非公開ですが取材は歓迎致します。担当まで事前にご連絡をお願いいたします。

お問い合わせ：国際交流基金 文化事業部 生活文化チーム 担当：志和(しわ)、奥  
電話 03-5369-6060 FAX:03-5369-6036 E-mail: jf-educators@jpf.go.jp